

ながはま健康づくり 0次クラブ会員で「季節性インフルエンザワクチン接種後の免疫応答に関する網羅的オミックス解析」研究にご参加いただいた皆さまへ

京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター

当施設では当大学の倫理委員会の審査を受けて大学長の許可を受けている以下の医学研究を実施しており、遺伝子データ解析の対象被検者としてながはま健康づくり 0次クラブ会員で「季節性インフルエンザワクチン接種後の免疫応答に関する網羅的オミックス解析」研究にご参加いただいた方の遺伝子データ（ゲノムデータ）を使用しています。

対象者に該当する可能性のある方で遺伝子データ（ゲノムデータ）を下記の研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

また、ご自身の遺伝子データ（ゲノムデータ）が本研究で使用されるかどうかについて確認されたい場合や本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合も下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

研究の名称（研究番号）	好酸球性食道炎・好酸球性胃腸炎の統合オミックス解析（G0742）
研究の目的	●ゲノム網羅的な解析および末梢血の代謝物や転写物の網羅的解析から、好酸球性食道炎と好酸球性胃腸炎の病因の解明を目指す。
当大学研究責任者	●大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦
共同研究機関及び各機関の研究責任者	●島根大学医学部附属病院消化器内科講師 石村典久 ●島津製作所ライフサイエンス研究所所長 佐藤孝明
研究期間	2026年3月31日まで（予定）
利用する試料・情報の項目	●DNA 検体を解析して得られた全ゲノム情報 ●血清・血漿検体を解析して得られた代謝物データ
試料・情報の利用目的・方法	好酸球性食道炎または好酸球性胃腸炎を発症している被検者のゲノム情報やオミックス情報と発症していない健常者（ながはま 0次コホート健診受診者）のゲノム情報やオミックス情報を比較解析することにより疾患に関連する可能性のある遺伝子変異やバイオマーカーを特定する。
他の研究機関への試料・情報の提供	共同研究機関である島津製作所ライフサイエンス研究所にながはま 0次コホート健診受診者の血清・血漿を提供して代謝物解析を依頼する。
試料・情報管理責任者	●大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦 ●共同研究機関については上記の機関の研究責任者
問い合わせ・苦情等の連絡窓口（右記のいずれかにご連絡ください）	●京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦 電話：075-751-4157 ●京都大学医学部附属病院 相談支援センター 電話：075-751-4748 E-Mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp